

2025 年 8 月 17 日

ユーシーカード株式会社

**ユーシーカード、2025 年日本国際博覧会で提供する「JPQR Global」において、
インドネシアの統一規格である「QRIS」への対応を開始**
～キャッシュレス先進国インドネシアとの連携で、訪日外国人の利便性をさらに向上～

みずほフィナンシャルグループの一員であるユーシーカード株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：福岡 和夫、以下「ユーシーカード」）は、現在開催中の 2025 年日本国際博覧会（以下、「大阪・関西万博」）で提供中の「JPQR Global」において、インドネシアの統一 QR コード決済規格「QRIS」へ対応し、8 月 17 日より大阪・関西万博会場内のインドネシアパビリオンや一部店舗において「QRIS」による決済が可能となります。

■「JPQR Global」について

「JPQR Global」は、日本の統一 QR コード決済規格「JPQR」と、諸外国の統一 QR コード規格との相互連携により、訪日外国人（インバウンド）と日本人旅行者（アウトバウンド）双方が、国内外でスムーズに QR コード決済サービスを利用できるようにする取り組みです。

この仕組みにより、訪日外国人は日本国内の店舗において、自国で利用している QR コード決済サービスをそのまま利用できるようになり、日本人旅行者も海外で日本の QR コード決済サービスを利用できるようになります。さらに、支払い時には、母国通貨に換算された金額が表示されるため、利用者は安心して決済できます。

また、「JPQR Global」の QR コードを設置している店舗では、各国との相互連携開始後も QR コードの差し替えや追加手続きなしで継続して利用可能です。

■大阪・関西万博での「JPQR Global」提供サービスの拡大について

ユーシーカードは、大阪・関西万博の会場内において、国内で初めて訪日外国人向けに「JPQR Global」を提供しています。7 月 5 日より、カンボジアの QR コード決済サービス「KHQR」に対応し、8 月 17 日からはインドネシアの QR コード決済サービス「QRIS」が新たに加わります。

インドネシアは、QR コード決済や電子マネーの利用が急速に広がるキャッシュレス先進国であり、2025 年第 1 四半期時点の「QRIS」利用者は 5,630 万人、取扱高約 262 兆ルピア(約 2 兆 3,056 億円)に達しており、商業施設に限らず、屋台などでも広く活用され、日常生活に浸透しています。（※1）

今回の「QRIS」対応により、インドネシアからの訪日外国人は、普段使い慣れた QR コード決済サービスを日本国内でもそのまま利用できるようになり、大阪・関西万博の会場内での購買体験の向上が期待されます。

今後も、一般社団法人キャッシュレス推進協議会が進める「JPQR Global」は、アジア各国の QR コード決済サービスとの連携を順次拡大していく予定です。ユーシーカードはその取り組みに連携し、利用可能店舗の拡大に貢献していきます。

（※1）出典：独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）発表「インドネシア中銀、日本向けの越境 QR 決済を 8 月 17 日から開始予定と発表」

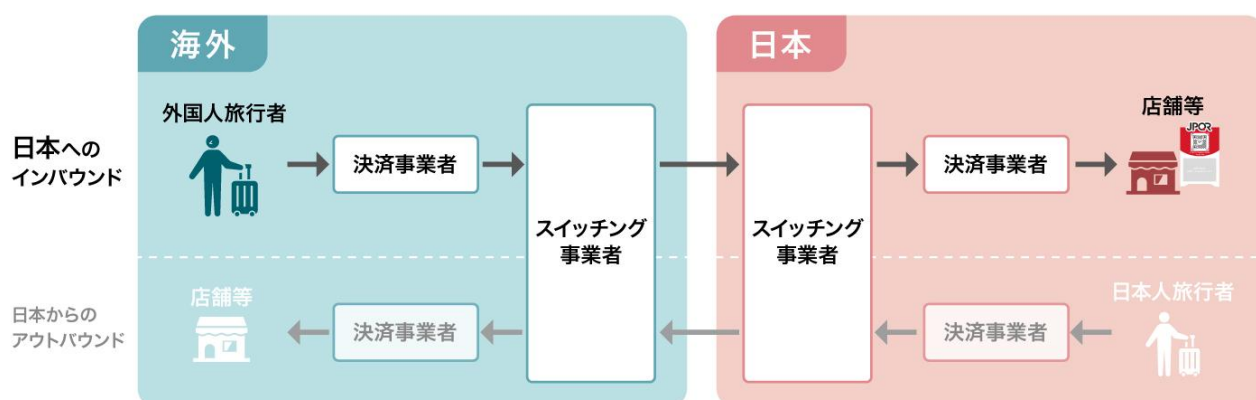
■ユーシーカードについて

みずほフィナンシャルグループの一員であるユーシーカードは、1969年の創業以来、UCブランド及び、会員・加盟店さま、ならびに UC ブランドカード発行クレジットカード会社であるブラザーズカンパニーの発展に努めてまいりました。

現在は、個人向けに UC ブランド最上位のクレジットカード「UC プラチナカード」を発行するとともに、法人向け企業間取引のキャッシュレス化の推進など事業領域を拡大しております。

これからも、「お客さまから愛され信頼される“みずほグループ”の決済ソリューション領域を担う中核会社」として、皆さまの人生に寄り添い続ける企業であり続けます。

■「JPQR Global」の利用イメージ



※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。